

▼サムタス点滴静注用 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 トルバプタンリン酸エステルナトリウム Tolvaptan Sodium Phosphate 【分類】 V2-受容体拮抗剤

【単位】 ▼8mg・▼16mg/V

【常用量】 16mg を 1 日 1 回 1 時間かけて点滴静注

■経口水分摂取が困難な患者： 8mg から開始し、翌日以降に効果不十分と判断されれば 16mg に増量

※Na 125mEq/L以下、高齢者、Na 正常高値なら 8mg から開始を検討 (EO)

【用法】 1 時間かけて点滴静注

【透析患者への投与方法】 通常は適用されない (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (1)

【特徴】 トルバプタンの静注製剤。

【主な副作用・毒性】

【安全性に関する情報】 血清 Na, K 濃度を投与開始 4~6 時間後, 8~12 時間後に測定し, 投与開始翌日から 1 週間程度は投与終了翌日まで毎日測定, その後も投与を継続する場合には適宜測定 (1)

使用中は利尿の状況により補液を調整して高 Na 血症や脱水を防ぐ (1)

【F】

【tmax】

【代謝】

【排泄】

【t1/2】

【蛋白結合率】

【Vd】

【MW】

【透析性】

【OW 係数】

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】 うっ血性急性心不全でのトルバプタンによる利尿不良因子として eGFR <45 がある (Takimura H, et al: Am J Cardiovasc Drugs 2023 PMID: 36739357)

急性心不全では早期のうっ血解除が重要で, 早期にトルバプタンの投与も短期および長期予後と関連 (Takimura H, et al: Int J Cardiol 2023 PMID: 36934988)

急性心不全では早期のうっ血解除が 1 年予後にも影響 (Oguri M, et al: Circ J 2020 PMID: 32321902)

【更新日】 20240710

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果,

直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。